

令和7年度第3回千葉県県土整備公共事業評価審議会 議事録

1 会議の日時 令和7年11月14日（金）午後1時から午後1時50分

2 場 所 千葉県庁南庁舎4階収用委員会審理室

3 出席者

(1) 委員

(対面) 轟朝幸、渡部大輔

(オンライン) 手計太一、高橋岩仁、吉村晶子、田中憲一

(名簿順、敬称略)

(2) 県土整備部幹部職員

大塚県土整備部次長

(3) 関係課

道路整備課、県土整備政策課（事務局）

4 審議会に付した議題

(1) 評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

(2) その他

5 議事の概要

- ・ 審議状況の公開について確認（千葉県県土整備公共事業評価審議会運営規程第7の規定により、今回の2件について公開で審議することを確認）
- ・ 傍聴者の入室（傍聴者0名、報道関係者2名）

■ 議事（1）評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

① 社会資本整備総合交付金（街路事業）

船橋都市計画道路3・4・22号 西浦藤原町線

船橋都市計画道路3・5・33号 藤原町馬込町線

市川都市計画道路3・3・9号 柏井大町線

（事業担当（道路整備課）より事業内容を説明）

○ 会長：ありがとうございました。

それでは本事業について御審議をお願いいたします。

御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。

○委員：御説明ありがとうございました。

用地取得に不測の日数を要していることから事業期間を延伸するとのことですが、平成13年から令和7年までの用地取得状況は67%であり、不測の日数を要している理由は何か、また8年で残り33%を取得できる見込みはあるのでしょうか。

●事業担当：用地の状況について、交渉については継続して実施しているところであり、交渉相手の中には体調不良で交渉回数が限られている方や、隣地との境界確定が難航している方、代替地を要望されている方がいらっしゃいます。引き続き要望に沿った代替地の選定や、補償額に不満を持たれている方についても丁寧に説明を行い、工程管理を徹底することで残る8年での完成を目指していきたいと考えています。

○委員：はい。わかりました。込み入った地域の中で大変困難な状況だと思いますし、8年で完成させるのはギリギリになってしまうかと思いますが、道路は繋がってこそ効果を発揮すると思いますので、丁寧に進めつつスピードアップしていただければと思います。

○会長：はい、ありがとうございます。

大変難しい調整、用地の交渉をされているということで、是非予定通り進めて頂ければと思います。

その他いかがでしょうか。

○委員：御説明ありがとうございました。

事業が20年近く経っておりかなり滞っている中で、用地が取得できたところから工事を進めるとのこと、工事事業区間が北側と南側に分かれると思うが、部分開通の可能性はあるのでしょうか。

●事業担当：工事に関しては、用地買収がある程度まとまった一連区間から入っていくことを想定していますが、肝心なところを買収できていないため、なかなか一連区間での工事ができていない状況です。事業の効果を早期発現したいと考えているため、部分開通についても今後の用地の進捗状況を見ながら、地元とも調整していきたいと考えています。

○委員：わかりました。ありがとうございます。

○会長：ありがとうございます。出来るだけ部分開通できればいいのですが、そこが難しいということですね。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

私から1点確認ですが、14ページの残事業の事業費22億円というのは、社会的割引率を引いた後だとは思いますが、6ページ、7ページの事業費増額の説明での残事業費の合計と22億の関係は、合計から割引いているという理解でよろしいでしょうか。

●事業担当：はい、そうです。

○会長：割引くとこれほど下がるのですね。若干割引の額が大きく感じたので念のため確認でした。

その他いかがでしょうか。

それでは、御意見がありました。御異議、異論等はありませんでしたので意見をまとめたいと思います。

社会資本整備総合交付金事業の、船橋都市計画道路3・4・22号 西浦藤原町線、船橋都市計画道路3・5・33号 藤原町馬込町線及び市川都市計画道路3・3・9号 柏井大町線について対応方針（案）のとおり、事業の継続について了承としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

御異議ございませんので、本審議会の意見は対応方針（案）のとおり継続と決定いたします。

② 社会資本整備総合交付金（道路事業）

一般国道410号 久留里馬来田バイパス

（事業担当（道路整備課）より事業内容を説明）

○会長：はい、ありがとうございました。

それでは本事業について御審議をお願いいたします。

御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。

○委員：ありがとうございました。

今日の説明の効果に加え、半島の問題はとても重要だと考えており、早期に整備を進めていくべきだと思っております。

観光客数が伸びているという表現がありますが、実際、交通量も増えているのでしょうか。交通量調査結果などがあれば教えていただきたいと思っております。

●事業担当：資料の12ページの右上の方に交通量の状況を示したグラフを提示させて

いただいております。バイパスの方では、開通に伴いまして約121%増加しており、現場の方では交通が現道からバイパスへ、交通の転換が起きていることを、交通量調査で確認しております。

○委員：年々増加しているということでしょうか。

●事業担当：開通後に交通量調査を行っているのですが、開通後まだ間もないということもあり、データの蓄積がありません。今後、必要に応じて逐次、確認していきたいと考えております。

○委員：はい、承知しました。ありがとうございます。評価に対しては賛成です。

○会長：ありがとうございます。

○委員：先日バイパスを通らせていただき、とても快適で安全性が確保されていると思いましたが。事業については賛成でおりますが1つ、旧道沿いの方は、バイパスができたことにより利便性が上がると思いますが、旧道沿いの商店街などはお客さんが減ってしまうような可能性があると思います。そのあたりの地域の方の意見というのは吸い上げているのでしょうか。旧道沿いから承認を得ている、または、事業者として地元ヒアリングしたなどの実績があれば教えていただけたらと思います。

●事業担当：本事業において地域の商業関係の方々に直接ヒアリングを行ったという実績はありませんが、旧道に関しては、地域の生活道路として、バイパスに関しては、今まで市街地を通過していた通過交通がバイパスへ転換するという事で、それぞれの機能の役割分担を担っていると考えております。しかしながら、道路を整備するにあたっては、そのような視点でも考えていければと感じているところです。

○委員：是非ともよろしく申し上げます。小さな町ではやはり、利便性が上がることによって、通過点になってしまう可能性があり、地域の衰退に繋がると考えております。

千葉県全体として考えたときには、観光地への誘致や、防災上の道路としては素晴らしいものだと思いますので、少し視点を変えた点についてもよろしく願いいたします。以上です。

○会長：はい。ありがとうございます。大変重要な御指摘をいただいたと思います。ぜひ、道路整備と共に街づくりの観点なども、地域、基礎自治体等も含めて一緒に考えていただければと思いました。先ほど委員からもありましたが房総は、半島といったところで、いざ何か起きたというときに、山の中を通る道路は、がけ崩れなどが発生しやすいので、非常に重要な道路だと私も思いました。ありがとうございました。

では、意見をまとめたと思います。一般国道410号 久留里馬来田バイパスについて、事業の効果は十分に発現されているということで、対応方針（案）として、今後の事業評価の必要はなしということを了承してよろしいでしょうか。

（異議なし）

御異議ございませんので、本審議会の意見は対応方針（案）のとおり本事業評価に対しての改善措置や今後の事業評価の必要はなしと決定いたしました。

○会 長：以上で、議事（1）を終了いたします。

■議事（2）その他

○会 長：次に、議事（2）その他について、事務局から何かございますか。

●事務局：事務局でございます。今年度第4回の審議会については、12月22日（月曜日）午前9時30分から開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

○会 長：委員の皆様からは、何かございますか。

議事進行に御協力いただきありがとうございました。

以上で、本日の議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。